

総務常任委員会会議記録（概要）

平成22年2月26日（金）

開 会（午前9時00分）

※1月1日付け人事異動に伴う部次長職職員のあいさつ

神田会計管理者、本間副市長付理事、笹原総合政策部長、

鈴木危機管理担当理事、粕谷監査事務局長、溝井監査事務局理事、

土方議会事務局長、大館議会事務局理事、平川秘書室長

○議案第2号「平成21年度所沢市一般会計補正予算（第7号）」

当委員会所管部分（議会事務局）

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意見・採決保留】

○議案第2号「平成21年度所沢市一般会計補正予算（第7号）」

当委員会所管部分（消防本部、危機管理課）

【補足説明】なし

【質 疑】

吉村委員

繰越明許費補正の消防団活動服等更新整備事業について、消防団活動服は既に発注したのか。

小高消防長

まだ発注しておりません。

【質疑終結】

【意見・採決保留】

○議案第2号「平成21年度所沢市一般会計補正予算（第7号）」

当委員会所管部分（総合政策部、出納室）

【補足説明】なし

【質 疑】

岡田委員

秘書経費についてだが、今年の所沢市新春の集いは新型インフルエンザの影響で中止になったが、平成22年度の予定はどうなっているのか。また、会場のくすのきホールの使用料だが、来年度の予算についてはどうか。

梅田秘書担当

今年度は新型インフルエンザの影響などにより、開催を中止いたしました。来年度については今年度同様に開催を予定しております。来年度の予算については、会場借料や事業用備品等がございますが、会場借料は50万円を見込んでおります。

理事

荒川委員

開催中止により会場借料は40万円減だが、参加者の飲食費用はこの会場借料に入っているのか、あるいは会費で賄っているのか。

梅田秘書担当

参加者の3,000円の会費は飲食費用です。そのほか会場の使用料、セッティングの人件費等が会場借料になります。

理事

末吉委員

出納事務費の県収入証紙購入費の減だが、他の自治体でも同様に減額されているのか。

志村出納室長

他の自治体については、聞いておりませんが、所沢市においては大口の収入証紙購入者がいらっしゃって、その方々が長引く不況の影響を受けたことから、今回、減額補正をすることになったものです。

中村委員

出納事務の関係で聞きたいのだが、利子の積立追加などについては、実際に資金を運用しているのが出納室ということから、原課ではなく、会計管理者が議案説明を行うほうがよいと考えるがどう思うか。また、どのように基金運用を行ったかを取りまとめた資料を用意するとわかりやすい説明になると思うがどうか。

神田会計管理者

基金については、地方自治法上は財産ということから、その管理権は普通地方公共団体の長にあると考えております。従って会計管理者は長から命があった場合について基金の運用を行うことになり、本市でも実際の運用は会計管理者が行っているところです。このようなことから基金利子積立については、会計管理者でなく、基金を所管する各担当部署において議案説明を行っているのが実情ではないかと思っています。ただ、委員が言われるようなやり方も手法としてはあるのかなとは感じています。

中村委員

収入証紙の財産権は長に属しているのか。

神田会計管理者 収入証紙は、使用料や手数料を現金に代えて納めるために利用させるもので、財産というとらえ方はしておりません。

中村委員 議案の審査において、例えば、利子積立金追加について、基本的には利率も運用状況も同じだと思うので、原課ごとの金額を見るよりも、全体でどうだったのかということが説明としてはわかりやすいと思うが、全庁的な検討になるかと思うが、ぜひこれについて検討してもらいたいと思うかどうか。

神田会計管理者 財産を所管する部署と協議はさせていただきたいと思います。

荒川委員 国際交流費について、ディケイター市と安養市の学生交流が中止になったわけだが、この予算の中にはホームステイなどの費用も入っているのか。

石井企画総務課長 学生の受け入れについてはホームステイですので、受け入れ家庭への謝礼等も入っています。

**【質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

○議案第2号「平成21年度所沢市一般会計補正予算（第7号）」

当委員会所管部分（財務部）

**【補足説明】**

富澤財務部長

昨日の議案質疑で荻野議員からのご質問についてお答えいたします。減額補正を行う基準については、原則、執行残額が100万円以上が見込まれる場合として各課へ通知していますが、各部の判断によるものです。

**【質 疑】**

末吉委員

ふるさと応援基金積立金について、集まった寄附金の使い方等の基準について伺いたい。

三上財政課長

関係課と調整中であり、十分に協議して、事業名等を公表していきたいと考えています。

末吉委員

寄附金の執行について、例えば、いくら以上の金額、あるいは、期間を設定するなど、こうした条件を含めて協議するという認識でよいか。

岡田委員

寄附金を来年度予定している航空発祥100周年記念事業に充てることは可能なのか。

三上財政課長

そういった事業にも充てられるよう協議する予定です。

岡田委員	航空発祥100周年記念事業は、市外の方々にも関心があると思われるので、本基金のPRに掲げることは検討できないものか。
三上財政課長	そうした部分も含め検討したいと思います。
荒川委員	寄附金の受け入れは、寄附者が在住する市町村を経由するのか。
三上財政課長	所沢市で寄付者から直接受け入れます。
荒川委員	所沢市民が他市へ寄附した金額等は把握しているか。
島崎市民税課長	「ふるさと応援寄附金」としての受け入れまでは確認できませんが、平成21年度の寄附金税額控除の申告件数が268件で金額は508万2千円です。
荒川委員	元金償還金について、都市計画税を充当する市債の内訳を伺いたい。
三上財政課長	東部クリーンセンター建設にかかる衛生債と都市計画道路、土地区画整理事業、カルチャーパーク土地取得などにかかる土木債になります。
荒川委員	法人市民税の減額補正額の内訳を伺いたい。

島崎市民税課長	所得割額のみ減額補正しました。状況としては、法人数に変化はなく、事業収益が落ち込んだことによるものです。
吉村委員	地域活性化・きめ細かな臨時交付金に関してだが、そもそも政権交代に伴う執行停止の臨時交付金が約3兆円あったと思うが、そのうち、予定されていた公共投資臨時交付金はこの停止分に含まれているのか。
三上財政課長	公共投資臨時交付金の1兆4千億円については、本年2月12日付けで交付要綱案が示されたところですが、執行停止の3兆円は含まれていないものと推測しています。
吉村委員	執行停止となった臨時交付金のうち、一旦停止し、その後交付額の減額見直し等が図られた交付金もあるのではないか。
三上財政課長	執行停止となった交付金は独立行政法人分や国の出先機関に関する事業であると認識しています。また、市町村の交付金は執行停止にはならなかったものと認識しています。
吉村委員	要綱案には総額など詳細は記されていないのか。



三上財政課長 要綱案には交付の総額は記されていないものの、地域活性化・きめ細かな臨時交付金としては5千億円になるとのことです。

吉村委員 公共投資臨時交付金は要綱を示されいながら国の予算額は示されていないということか。

三上財政課長 十分に把握しておりません。

吉村委員 国の1次補正で示された公共投資臨時交付金があるにもかかわらず、その金額ははっきりせず、一方で、2次補正の地域活性化・きめ細かな臨時交付金を先行させることはいかかなものかと思うが、このような例は過去にあったのか。

三上財政課長 過去の事例にはなかったものと思われませんが、正確には把握しておりません。

吉村委員 国の資料によれば、経済危機臨時交付金、きめ細かな臨時交付金及び公共投資臨時交付金の使い方の相違について、この3つの交付金を組み合わせて事業に充てることは可能との例が示されている。だとすれば、使い道に相違はないと解釈できるがいかかがか。

三上財政課長 事業によっては3つの交付金を同時に充てることも可能ですが、いずれにしても地域活性化を目的とした交付金ですので、使い道は区別されるものと認識しています。

吉村委員 使い道を限ったことによる経済的損失と、公共投資交付金のように交付執行が遅延したため生じるであろう経済的損失と、どちらの損失が大きいと思うか。

三上財政課長 地域活性化という目的からすれば、早期発注は経済活性化につながるのではないかと感じております。

末吉委員 交付金活用事業の中には、一般財源が事業費の半分以上を占めている事業が見受けられるが、交付金と一般財源の充当の割合の基準等について伺いたい。

三上財政課長 入札差金等を勘案し、交付限度額を満額で受けられるよう一般財源を充当して申請を行いました。

富澤財務部長 国の交付額は総額5,000億円を予定しており、うち4,500億円は1次交付として決まっておりますが、残り500億円は2次交付分として未確定な状況にあります。このため、交付金の充当は原則事業費の1割

としましたが、美原中学校グラウンド整備事業については一般財源を多めに割り当て、2次交付確定後に財源変更することで、交付限度額を満額受けるよう調整したものです。

末吉委員

交付金活用事業の選択について、公共施設修繕計画と緊急修繕計画に基づいて行ったとの説明であったが、計画順位を優先したのか、緊急性を優先したのか、基準の説明を願いたい。

三上財政課長

公共施設修繕計画より選択した事業は、計画では22年度中としていたものの、財政状況により23年度へ見送った事業があり、その事業より選択しました。また、修繕計画からの選択だけでは建築工事に限定されてしまうため、土木工事に配慮するため、今回の事業選択としたものです。なお、修繕計画からの選択は、交付申請の期日までに余裕がなかったことから、設計金額が固まっている事業から選択しました。

末吉委員

今回の事業はすべて平成22年度に予定していた事業なのか。

三上財政課長

すべて予定していましたが、予算がついていなかった事業もあります。

末吉委員

もし臨時交付金がなければ、一般財源で執行する予定の事業ということか。

三上財政課長 計画では平成22年度に執行する予定でしたが、予算状況により23年度へ見送った事業も含まれています。

末吉委員 どの事業なのか。

三上財政課長 椿峰コミュニティ会館別館（つばき児童館）施設整備事業、狭山ヶ丘コミュニティセンター施設整備事業、市営住宅並木団地施設改修事業、図書館施設整備事業、及び道路舗装補修事業と道路改良舗装新設事業の一部です。

中村委員 減額補正の基準について、原則100万円以上としているとの説明だったが、商工会館の取り扱いについてはどのように考えているのか。

富澤財務部長 ご承知のとおり、今回、商工会館取得の補助金については組み替えを予定していましたが、議案の提出を取り下げたことから、現在は当初予算のまま推移しているものと認識しており、今回の補正には含まれておりません。

中村委員 先日の全員協議会や議場での質問では、補助金の執行はできないとの説明がなされていた。だとすれば、未執行になっている商工会館の取得に関

する補助金について、何故、組み換えや繰越明許するような指示をしなかったのか。

富澤財務部長 補正については、あくまでも所管課の判断のため、財政担当より指示はいたしておりません。

中村委員 所管課は補助金執行できないと説明しているが、財政担当としてはまだ、執行可能と判断しているという認識でよいか。

富澤財務部長 そのとおりです。

中村委員 財政担当としては、所管課の判断によるということか。

富澤財務部長 そのとおりです。

中村委員 議案の提出の取り下げを検討する段階で、この補正予算を見直すことについて、各課と調整は行ったのか。

富澤財務部長 担当課より取り下げについて相談をいたしましたが、補正の見直しは行いませんでした。

**【議案第2号 当委員会所管部分 質疑終結】**

休 憩（午前9時55分）

再 開（午前9時57分）

**【意 見】**なし

**【採 決】**

議案第2号 当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり、  
可決すべきものと決する。

散 会（午前10時04分）